

『第43回 地盤工学研究発表会』に D滑走路・国際線エプロンから22編を報告

トピックス

平成20年7月9日、広島市の広島国際会議場において、(社)地盤工学会主催による『第43回地盤工学研究発表会』が開催されました。東京国際空港(羽田空港)再拡張事業として、D滑走路及び国際線エプロンの2つの個別セッションから22編の地盤工学的課題について報告しました。

D滑走路においては、埋立部の地盤改良等について、軟弱地盤上に低置換改良したサンドコンパクションパイル(SCP)工法による盛上形状、静的コーン貫入試験によるサンドマットの層厚確認方法、また、それらに用いた山砂の細粒分含有率の品質管理、更に今後、本格化する埋立部の施工を安全かつ確実に施工するための情報化施工(動態観測)等について報告しました。

また、国際線エプロンにおいては、建設する位置での地盤設計値の考え方や既設地下構造物へ影響させない工法として採用している軽量混合処理土の施工・品質管理方法等について報告しました。

【お知らせ】

平成20年9月12日、東北大学川内北キャンパスにおいて、『第63回年次学術講演会(土木学会)』が開催されますが、D滑走路及び国際線エプロンから27編の技術的課題について報告する予定です。発表内容にご興味のある方はご聴講下さい。



なお、地盤工学研究発表会の報告論文は、当事務所HPにて、ダウンロードすることができます。

平成20年7月22日

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
D滑走路プロジェクト推進室 野口・鈴木
住所:東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス 5階
電話:03-5756-6576
HP:<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>

『第43回地盤工学研究発表会』（H20.7.9）発表課題

【D滑走路】

- ・羽田再拡張事業D 滑走路建設における地盤工学的課題（野口孝俊）
- ・羽田空港再拡張事業D 滑走路における大規模抗土圧構造物のモニタリング計画（齋藤泰之）
- ・羽田再拡張事業D 滑走路建設における山砂の高分子沈降剤による細粒分含有率の品質管理（竹内泰弘）
- ・羽田再拡張D 滑走路建設工事における基礎杭載荷試験（永谷達也）
- ・小型電気式静的コーン貫入試験によるサンドマット層厚の確認（榊原務）
- ・大規模埋立工事におけるRI コーン貫入試験による地盤調査の適用事例（高橋充）
- ・羽田D 滑走路工事埋立部における施工時動態観測の計画（河村健輔）
- ・深層混合処理土の配合設計および品質管理（渡邊雅哉）
- ・羽田再拡張D 滑走路建設工事におけるSCP 工施工時の盛上形状について（井上憲）
- ・東京国際空港再拡張事業における羽田沖海底粘土の非排水せん断特性（福本裕哉）
- ・東京国際空港再拡張事業における羽田沖海底粘土の長期圧密特性（梁順普）

【国際線エプロン】

- ・異なる地下水位で養生された気泡混合処理土の長期安定性（永留健）
- ・気泡混合処理土の長期耐久性に関する実験的検討とその評価（田中洋輔）
- ・建設発生土を利用した気泡混合処理土の品質管理方法（大久保泰宏）
- ・羽田空港国際線エプロン部における気泡混合処理土の施工（新舎博）
- ・空港エプロンに適用した対象層厚上部だけの液状化対策の考え方とその評価（廻田貴志）
- ・FCB の滞水下における長期耐久性の検討 - その1 設計定数の決め方（早瀬宏文）
- ・FCB の滞水下における長期耐久性の検討 - その2 FCB の気泡の微細構造（檜垣貫司）
- ・東京国際空港国際線地区の工学的地層区分と物理特性（加藤浩司）
- ・東京国際空港国際線地区の粘性土層の力学・圧密特性（利藤房男）
- ・杭打ち機械の自走時における動揺計測実験（玉手聡）
- ・杭打ち機械模型の作製と遠心場走行実験（堀智仁）

():発表者名, 斜字:関東地方整備局職員